

生活科学学習指導案

令和4年5月25日（水） 第3校時 第1学年2組（1年2組教室） 指導者 狩野 葵辰
近藤

【単元】レッツ ゴー！ ふぞくしょう たんけんたい！（内容項目（1）学校と生活）

考察	知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	学校にある施設や物、学校生活に関わる人々の特徴やよさ、それらと自分自身との関わりへの気付き	「附属小のことを知ってもっと好きになれるように、学校探検をしよう」という目的を見だし、学校にある施設や物、学校生活に関わる人々への気付きを基に、学校と自分との関わり方について考え、表現する。	学校探検をすることへの意欲や自信を高めながら、楽しく学校生活を送ろうとする態度
子どもの実態	1年生の教室や校庭などにある、物や遊具、その楽しさに気付いている。 - 学校にある理科室などの特別教室や教員室、校長室といった施設や物、それらに関わる人々の特徴やよさに気付いていない。	1年「ともだちになろう」において、目的「友達と仲良くなれるように、話したり遊んだりしよう」を見だし、友達と自分との関わり方について考え、楽しく遊んでいる。	- 友達作りを通して、学校生活への期待を高め、友達と楽しく学校生活を送りたいという意欲を高めている。 - 幼児期の経験から、生活する場所や人々に愛着をもち、楽しく過ごすよさを感じている。
価値	- 学校には、子どもたちが学習等で関わる施設や物があり、子どもたちの生活を支えてくれている様々な人々がいる。入学して一ヶ月が経った1年生の子どもたちは、学校で友達や教師と一緒に学んだり遊んだりすることを通して、共に生活する楽しさを味わいながら、活動範囲を広げ、附属小に対する親しみをもち始めている。この中で、子どもたちは、初めて出合った学校の施設や人々に関わることへの楽しさを感じ、関わることでできた自分自身への自信をもっている。このような子どもたちにとって、自分たちと関わりの少ない学校の施設や人々に関わる学校探検は、もっと附属小の施設やそこで過ごす人々を知ってこれまでよりも附属小を好きになりたい、楽しさを感じたいという思いや願いを高めることができる体験である。本単元において、子どもたちがこのような思いや願いをもち、自分たちで探検場所や調べたいことを自己決定し、学校探検を行うことは、学校にある施設や物の意味、学校で生活する人々と自分との関わりを主体的に見つめることとなる。そして、附属小の特徴やよさについての気付きを得て、好きなところを増やせたことを実感した子どもは、自分たちの学校探検の仕方や調べ方、話し合い方のよさを実感し、それらを果たせた自分自身の成長に気付くことができる。このように、学校生活についての気付きの質を高めていった子どもたちは、学校に愛着が生まれ、楽しく学校生活を送ることができるようになる。 - 学校探検をしたり、探検での気付きを伝え合ったりすることを繰り返すことで、学校にある施設や物、学校生活に関わる人々との関わりが生まれる。そのため、それらの特徴やよさに気付くことができる。	学校には、様々な施設や物、学校生活に関わる人々が存在する。そのため、気付きや疑問を多様に得られ、それらを友達と伝え合ったり調べたいことを相談したりして、学校と自分との関わり方を考え、学校探検をすることができる。	学校の施設やそれらに関わる人々について知ること、愛着が生まれる。そのため、進んで学校にある施設の様子や学校に関わる人々について調べたいという意欲をもち、楽しく学校生活を送ることができる。
見方・考え方	学校の施設や物、それらに関わる人々を自分にとっての大切さで捉え、楽しく安全に学校生活を送ることについて考えること		
今後の学習	1年「こうえんをたんけんしよう」において、公園や公園にある自然や遊具、施設との関わりについて調べ、公園や公園にある自然や遊具、施設や自分との関わりについて気付き、楽しく安全に公園探検をする学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	学校探検をすることを通して、調べたいことを考え、学校にある施設や物、学校生活に関わる人々と自分自身に関わっていることに気付き、楽しく学校生活を送ろうとする。			
評価 規準	(②知・技) 学校にある施設や物、学校生活に関わる人々の様子や自分自身の成長に気付いている。 (②思・判・表) 学校にある施設や物、学校生活に関わる人々の様子について調べたいことを考え、気付きや思いなどを友達に伝えている。 (③主体的態度) 学校にある施設や物、学校生活に関わる人々の様子に関心をもち、進んで関わりながら楽しく安全に学校生活を送ろうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であう	2 1	○附属小の施設や人々の様子について知っていることや好きなどを伝え合い、試しの学校探検をする。 ○学校探検をして見付けたことや疑問に思ったことを発表し合い、学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 附属小をもっと好きになるために、学校を 探検して附属小のことをよく知ろう	○学校の施設や人々に興味や疑問をもてるように、これまで子どもたちと関わりの少ない教職員や施設を意図的に通る試しの学校探検の時間を十分に確保する。 ○探検して疑問に思ったことを想起できるように、附属小マップと学校探検の様子の写真を提示する。	◇学校の施設や人々の様子について、興味や疑問をもったことや、行ってみたい場所を伝えている。 <発言③> ◇試しの学校探検をして見付けたことや疑問に思ったことを基に、これからしたいことを友達と伝え合っている。 <発言②>
か か わ る	1 2 1 1 2	○1回目の学校探検で調べたいことを話し合い、探検をする施設やグループの約束を決める。 ○1回目の学校探検を行い、探検で見付けたことや疑問に思ったことを発見カードにかく。 ○1回目の学校探検で、見付けたことや疑問に思ったことを話し合う。 ○2回目の学校探検で聞きたいことをグループで話し合って決める。(本時) ○2回目の学校探検を行い、見付けたことを発見カードにかく。	○探検の見通しをもてるように、「探検する場所」や「グループの約束」などの視点を提示する。 ○施設や物の具体的な様子に着目できるように、「施設にある物」や「数」「大きさ」などの視点を提示する。 ○学校に関わる人々に関心をもてるように、「施設にいた人」や「していたこと」の視点を提示する。 ○学校に関わる人々に聞きたいことを考えられるように、前時の疑問を書いた掲示物とインタビューシートを用意する。 ○インタビューをして見付けた施設や人々の具体的な様子に着目できるように、グループ内で伝え合う機会を設定する。	◇探検したい施設や理由、気を付けたいことを友達に伝えたり、書いたりしている。 <発言、学習プリント②> ◇施設にある物や数、大きさに関する探検で見付けたことを絵や言葉でかいている。 <発見カード①> ◇探検をして疑問に思ったことを、学校に関わる人々に聞いてみたいという思いを友達に伝えている。 <発言③> ◇2回目の探検で学校に関わる人々に聞きたいことを話したり書いたりしている。 <発言、学習プリント②> ◇学校に関わる人々の仕事について、具体的に記述している。 <発見カード①>
・ま いと かめ する	1 1 1	○1・2回目の学校探検をして分かったことや思ったことをグループで伝え合い、発表したいことを決める。 ○1・2回目の学校探検の中で、気付いたことや思ったことを他のグループに発表する。 ○学校の探検をして、学校の好きになったところを振り返り、伝え合う。	○探検で気付いたことを実感できるように、「施設にいた人」や「施設にある物」などの視点を提示する。 ○気付いたことや思ったことを伝えられるように、探検の写真や動画を入れたタブレットを用意する。 ○学校の施設や働く人々への愛着や自分自身の成長への気付きを自覚できるように、「附属小の好きなおところ」「好きが増えた理由」の視点を提示する。	◇学校の施設の様子や使い方、働く人々の仕事や思いなどを友達に伝えるように表している。 <学習プリント①②③> ◇学校探検をして気付いたことや思ったことを他のグループの友達に発表している。 <発言②> ◇学校探検をして気付いたことや思ったことから、好きになったところなどを絵や文にかいたり友達に伝えたりしている。 <学習プリント①②③>

本時の学習（8／13時間目）

ね ら い 1回目の学校探検の中で見付けたことや疑問に思ったことを基に、2回目の探検で聞きたいことを話し合うことを通して、学校生活に関わる人々に聞きたいことを、1回目の学校探検での気づきを生かして決めることができる。

評価項目 2回目の探検で学校に関わる人々に、聞きたいことを話したり書いたりしている。

<発言、学習プリント②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・1回目の探検で、給食室の好きなところが増えてきたよ。でも、まだ知りたいことがあるから、もっと好きなところを増やすためには、給食室のことをよく知ることが大切だな。 ・聞く時間が短いから、本当に聞きたいことを決めないとな。友達と相談して決めたいな。	○附属小のことをもっと知りたいという思いを想起できるように、附属小の好きなところの増加の有無や好きなところを増やす方法を問いかける。 ○2回目の探検で聞きたいことをグループで話し合っ決めてという必要感をもてるように、視点「聞く時間の有限性」を提示する。
めあて：2回目の探検で聞きたいことを決めよう	
2 2回目の探検で聞きたいことを決める。 ・ぼくは、給食室の大きなお鍋がどのくらいの大きさなのかを聞いてみたい。1回目の探検で、いつも給食を見に来てくれる栄養士さんが給食を作ってくれているのを見たよ。栄養士さんともっと話してみたいな。 ・1回目の発見カードを見ると、大きなスプーンみたいなもので給食を作っていたって書いてあるね。毎日どのくらいの給食を作っているのかな。ぼくたちの給食や附属小のお兄さんお姉さんの給食も必要だから、全部で600人分くらい作っているのかもしれない。 ・栄養士さんが毎日美味しい給食を作ってくれていて嬉しいね。給食の時にいつも見に来てくれるけど、どんなお仕事をしているのかな。 ・ペアのグループは、栄養士さんがぼくたちの給食を見に来てくれることについて聞いてみたいんだね。たしかに、栄養士さんも給食を作ってへとへとなのに、どうしてきてくれるんだろう。 ・2回目の探検では、給食室にある鍋の大きさや給食の数、どうしてぼくたちの給食を見に来てくれるのかを栄養士さんに聞いてこよう。	○話し合いの仕方の見通しをもてるように、インタビューシートに質問カードを貼る様子を演示し、附属小の好きなところが見付かりそうな質問を問いかける。 ○2回目の探検で聞きたいことを記述できていない子どもには、1回目の学校探検での気づきを生かせるように、1回目の探検で見付けたことを尋ね、「数」や「大きさ」、「関わる人々について知らないこと」を問いかける。 ○施設やそこにある物、それらに関わる人々と自分との関わりに気付けるように、探検で聞きたいことと附属小の好きなところが増えることのつながりを問いかける。 ○考えた2回目の探検で聞きたいことの不十分さに気付けるように、ペアのグループに考えた質問を伝え合うように促し、聞きたいことの有無を問いかける。 ○考えた2回目の探検で聞きたいことが附属小の好きなところを増やせることを自覚できるように、友達の聞きたいことをグループの聞きたいことに取り入れている児童を称賛する。
3 本時の学習の振り返りをする。 ・グループの友達と話し合っ、2回目の探検で調べてくることが決まったよ。 ・インタビューをすると分からないことが分かるようになりそうだよ。みんなで協力して、附属小の好きなところをもっと見付けたいな。	○友達と話し合っ2回目の探検で聞きたいことを決められたことを実感できるように、「思いや願いを実現するための学び方」を提示し、達成度を問いかける。 ○次時の学校探検で部族小の好きなところをもっと見付けたいという思いを高められるように、探検によって附属小の好きなところをもっと見付かることの可否を問いかける。